

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
62211	監査事務事業	監査委員事務局	監査委員事務局	シートA	2
62222	全国都市監査委員会等関係事務	監査委員事務局	監査委員事務局	シートA	3

令和4年度	部局等名 監査委員事務局	課等名 課等長名	監査委員事務局	担当グループ名 リダー名	主幹	監査担当	連絡先	948-6614	
	部等長名	上田 陽一郎	課等長名	岸 洋三		中川 耕児	担当者名	主任	濱田 ひかり
令和3年度	部局等名 監査委員事務局	課等名 課等長名	監査委員事務局	担当グループ名 リダー名	主幹	監査担当	連絡先	948-6616	
	部等長名	上田 陽一郎	課等長名	戒田 圭三		西村 光代	担当者名	主任	藤原 まゆき

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62211	監査事務事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	効率的な行政を推進するための体制強化		市長公約	-		
取り組みの柱	更なる「選択と集中」に基づき、重点施策などを明確化するための実効的・効率的な行政評価を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第195条等					
事業の目的(どのような状態にするか)	公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点において監査等を実施し、もって、市の行政の適法性、効率性、妥当性を保障することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	地方自治法に監査委員制度の規定が設けられたことに伴い、普通地方公共団体に監査委員及び事務局が設置され、同法等に基づく監査を実施している。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理等 事業内容:年間監査計画を策定し、これに基づき次の監査を実施(一般監査) ・例月現金出納検査 ・決算審査 ・定期監査 ・財政援助団体等監査 ・行政監査 年度当初に予見不可能な監査については、事案発生の都度、直ちに実施計画を作成のうえ監査を実施(特別監査) ・住民監査請求監査等					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 22	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	監査委員費	目	監査委員費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)						910		939		968
決算額(B)(単位:千円)						651		690		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金					0		0		0
	県支出金					0		0		0
	市債					0		0		0
	その他					0		0		0
一般財源					651		690		968	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							消耗品費 295千円 工事技術調査業務委託 179千円 印刷製本費 172千円	消耗品費 316千円 工事技術調査業務委託 208千円 印刷製本費 207千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)					259		249		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・例月現金出納検査 ・決算審査 ・定期監査 ・財政援助団体等監査 ・行政監査 ・住民監査請求監査					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	監査計画に基づき市政の事務執行に対して公正不偏の立場で実施できた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	監査を実施することにより、適正な行政運営の確保に貢献			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	適正な監査を実施することにより、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営の確保に資する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・例月現金出納検査 ・決算審査 ・定期監査 ・財政援助団体等監査 ・行政監査	

令和4年度	部局等名 部等長名	監査委員事務局 上田 陽一郎	課等名 課等長名	監査委員事務局 岸 洋三	担当グループ名 リダー名 主幹	監査担当 中川 耕児	連絡先 担当者名	948-6616 主査 垣本 玲美	主任 鈴木 正明
令和3年度	部局等名 部等長名	監査委員事務局 上田 陽一郎	課等名 課等長名	監査委員事務局 戒田 圭三	担当グループ名 リダー名 主幹	監査担当 西村 光代	連絡先 担当者名	948-6616 副主幹 岡本 陽子	主任 鈴木 正明

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62222	全国都市監査委員会等関係事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	職員の資質向上		市長公約	-		
取り組みの柱	変化する市民ニーズに柔軟に対応できる職員の育成や、ベテラン職員が蓄積してきた技術やノウハウの円滑な継承を図るため、実効性のある多様な職員研修を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方自治法第195条等					
事業の目的(どのような状態にするか)	監査委員の連絡を密にし、監査委員制度の円滑な運営と健全な発展を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	監査委員制度の誕生に伴い、制度また職務権限等について研究し監査委員制度の円滑な運営と健全な発展を図るため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:各都市の監査委員及び事務局職員 事業内容:諸会に参加し、監査委員相互の連絡、協議を図り、監査に関する研修、調査、研究の実施及び資料の交換、発表等を行っている。 ・全国都市監査委員会 ・西日本都市監査事務研修会 ・中核市監査(委員)事務局連絡会 ・四国地区都市監査委員会 ・愛媛県都市監査委員協議会					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 22	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		監査委員費		R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					884		855			1,197
決算額(B)(単位:千円)					152		149			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0			0
	県支出金				0		0			0
	市債				0		0			0
	その他				0		0			150
	一般財源				152		149			1,047
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					全国都市監査委員会会費 149千円		全国都市監査委員会総会等旅費 446千円 四国地区都市監査委員会旅費 298千円 全国都市監査委員会会費 149千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	732		706			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・全国都市監査委員会 ・西日本都市監査事務研修会 ・中核市監査(委員)事務局連絡会 ・四国地区都市監査委員会 ・愛媛県都市監査委員協議会 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響から、対面での開催に代えてリモートや書面にて監査委員相互の連絡、協議を図り、監査に関する調査、情報の交換等を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	諸会が全て対面での開催に代えてリモートや書面での参加となったが、監査委員、事務局職員の資質向上につながった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		監査を実施することにより、適正な行政運営の確保に貢献		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響から、諸会の全てが、対面での開催中止となった。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策	四国地区都市監査委員会又は愛媛県都市監査委員協議会については、役員都市又は県会長都市となっているため、他の役員都市又は開催都市の事務局と連携を密にし、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、リモートや書面開催等の開催方法を変更について協議を諮る。		
R4年度の目標	諸会に参加することにより、監査委員の識見を深めるとともに、職員の能力向上をはかり、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保に資する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	・全国都市監査委員会 ・西日本都市監査事務研修会 ・中核市監査(委員)事務局連絡会 ・四国地区都市監査委員会 ・愛媛県都市監査委員協議会		